

2023年3月8日

みやざきバイオマスリサイクル株式会社

みやざきバイオマスリサイクル第2発電所の建設を決定しました

～国内最大規模の鶏糞発電所を2026年4月に営業運転開始予定～

当社は2005年より、日本初の鶏糞発電事業として国内最大規模の発電所を運営してまいりましたが、運転開始から17年以上が経過していることから、2026年4月の営業運転開始を目指し、既設と同規模での第2発電所の建設を行うことを決定いたしました。

当社はこれまで宮崎県の養鶏農家やブロイラー会社と協働し、県内で発生する鶏糞の約半分にあたる年間13万トン以上の鶏糞を燃料として発電を行い、自然に優しい電気を供給すると共に、発電の過程で発生する焼却灰は肥料として利用することで、環境負荷の低減と養鶏産業における資源循環の一翼を担ってまいりました。

今後、地域の皆さまのご理解・ご協力を頂きながら、第2発電所の建設を安全かつ着実に進め、鶏糞の有効利用を長期安定的に行うことで、循環型社会の構築と地球環境の保全に引き続き貢献してまいります。

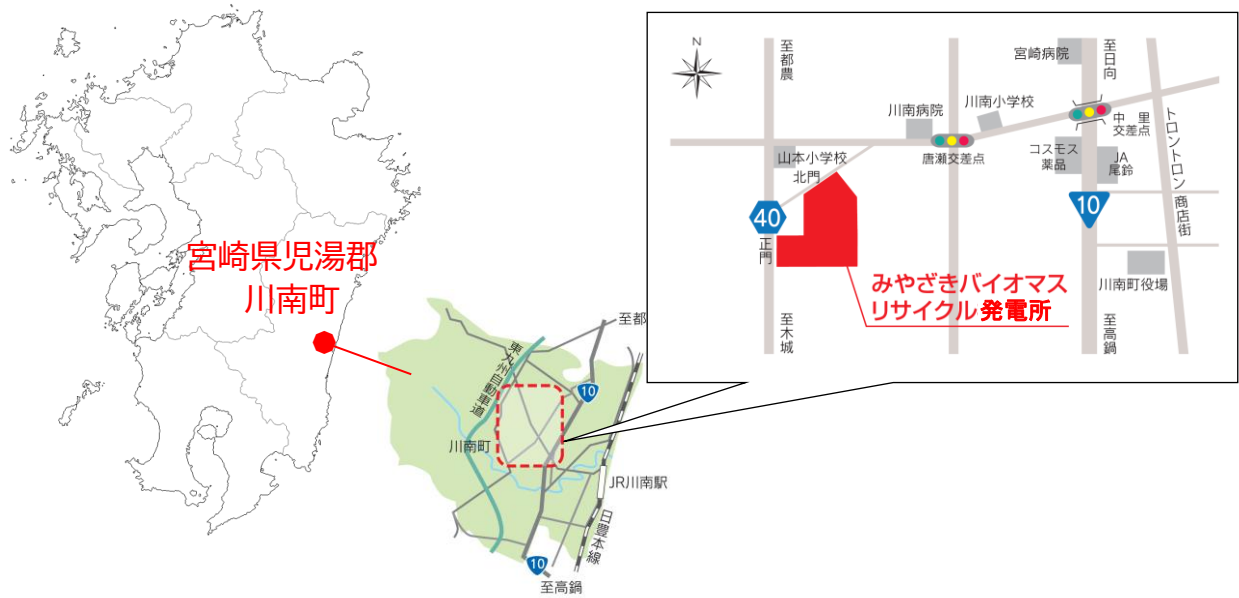
【第2発電所事業概要】

事業者	みやざきバイオマスリサイクル株式会社 代表取締役社長 山下 壽		
出資者	・丸電みらいエナジー(株) 42%	・(株)児湯食鳥 1%	
	・宮崎バイオマス利用組合 22.4%	・日本ホワイトファーム(株) 1%	
	・児湯食鳥宮崎生産者組合 21.8%	・(株)ウェルファームフーズ [※] 1%	
	・宮崎環境保全農業協同組合 9.8%	・(有)山下商事 1%	
発電所名	みやざきバイオマスリサイクル第2発電所		
所在地	宮崎県児湯郡川南町大字川南 4621 番地 1		
発電設備の出力	9,500kW		
年間送電電力量	約6千万 kWh(一般家庭約2万世帯の年間消費電力量に相当) ^{※1}		
使用燃料	約13万2千 t/年(鶏糞)		
CO ₂ 排出抑制効果	約2万3千 t-CO ₂ /年 ^{※2}		
着工	2024年6月(予定)		
営業運転開始	2026年4月(予定)		

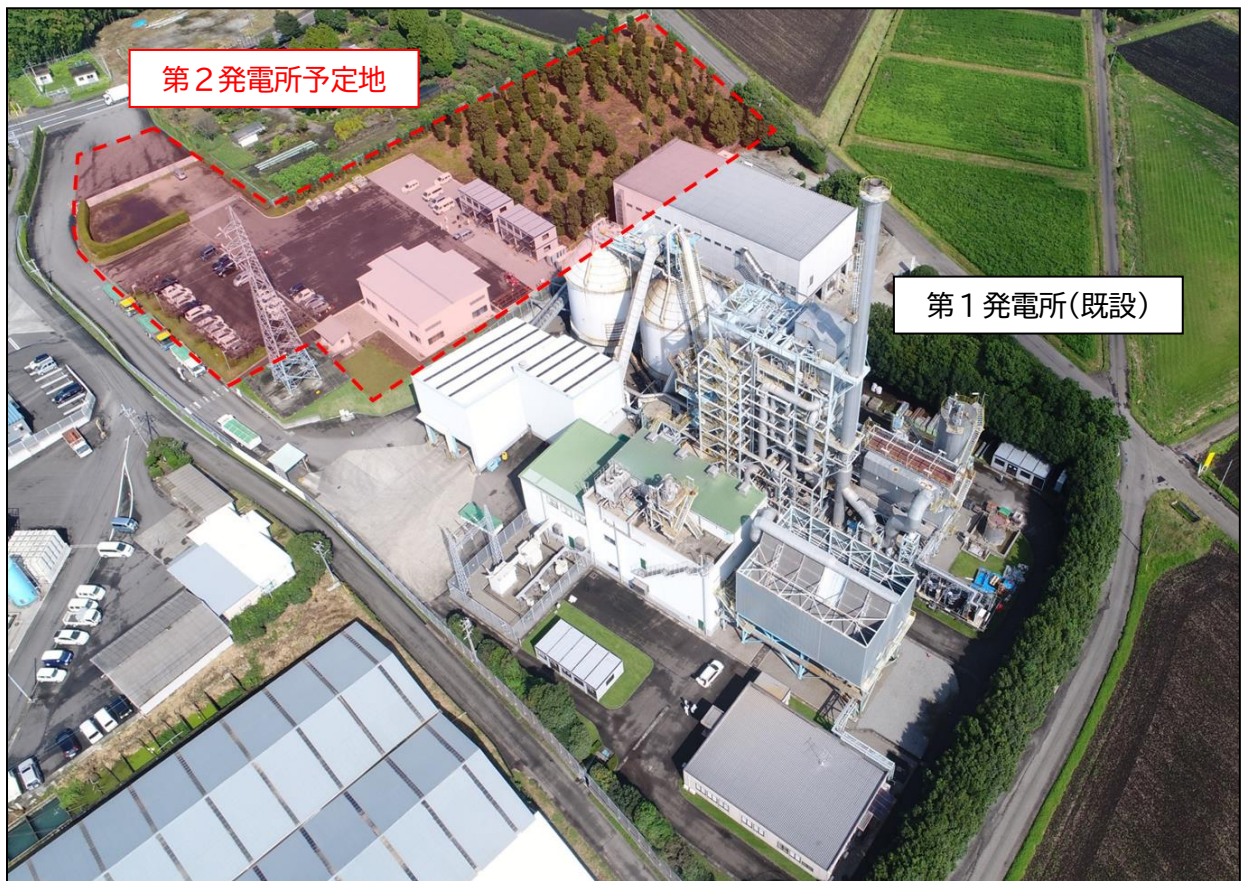
※1 1世帯当たり247.8kWh/月(2015年度)で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

※2 九州電力(株)のCO₂排出係数「0.385kg-CO₂/kWh」(2021年度)で算出

<発電所の場所>



<発電所の外観>



[お問い合わせ先]

みやざきバイオマスリサイクル株式会社

TEL:0983-27-6810

FAX:0983-27-6204



「快適で、そして環境にやさしい」
 そんな毎日子どもたちの未来につなげていきたい。
 それが、私たち九電グループの思いです。